

催す。指導は日本語教師、補助は地域住民から募った日本語学習支援者が行う。

具体的な指導内容：

第1回 オリエンテーション・レベルチェックテスト

第2回 日本語の文字（ひらがな・かたかな）・あいさつに役立つ日本語

第3回 買い物に役立つ日本語

第4回 病院で役立つ日本語

第5回 レストランで役立つ日本語

第6回 市役所で役立つ日本語

第7回 地域で暮らすときに役立つ日本語

第8回 銀行で役立つ日本語

第9回 学習のふりかえり

第10回 成果発表会

【「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無】
あり・なし ※○で選択してください。

【種別及び事業名称】 ボランティアによる日本語教室

【新設・既設の別】 新設・既設 (※日本語教室の場合は選択してください。)

【目標】 既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。

【実施回数・時期】 ○回（1回○時間） ○月～○月

【実施期間】 ○月～○月

【実施場所】 県内日本語教室

【受講者募集方法】 各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行う。

【受講者見込数】 ○人（○人×○か所）

【講師】 ○人（うち、日本語教師 ○人）

【内容】 ※具体的に記載すること

ボランティアが地域に在住する外国人を対象に、それぞれの課題意識に基づき日本語指導を行う。

○月 第1回 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○月 第2回 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○月 第3回 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○月 第4回 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無】
あり・なし ※○で選択してください。

② 小規模な民間団体等が実施する日本語教育への支援		
本欄に記載のうち、補助金等を交付して実施する取組における交付団体数	交付団体数	2団体

コメントの追加 [A1]: 補助金等（補助金・負担金・分担金・交付金）の交付も想定されていますが、事業計画において、その具体的内容が示されていないことが多いため、こういった目的で支援が行われるかが分かるようにしてください。

(様式1-4)

--